公立大学法人 山口県立大学 大学院
国際文化学研究科国際文化学専攻
修士課程

Graduate School of Intercultural Studies
Master's Course of Intercultural Studies

川口 喜治　KAWAGUCHI Yoshiharu

研究分野：中国文学

キーワード：古典詩、唐代詩歌、伝統的知識人（士人）、生態

研究トピックス：

中国古典詩と伝統的知識人の生態

研究の要旨：

次の三人の詩人たちの姿は、国立公文書館デジタルアーカイブから拝借した、清の時代の画家・上周官の『晩笑堂竹荘畫傳』に描かれた唐代の著名な詩人、左から李白、杜甫、孟浩然です。もちろん彼らの写真があったはずもなく、肖像画も伝わっていなかったでしょう。つまりこれらの絵は、画家がこうであったはずだと解釈し、再現した詩人像なのです。もちろんその解釈には、作品の読解や事跡の研究を通じて蓄積されてきたこれらの詩人たちに関する伝統的、通念的な理解が大きな影響を与えていることは言うまでもありません。

さて私は（使い捨て懐炉大学を出席卒業後）これまでに、高適(こうせき)、孟浩然(もうこうねん)、李頎(りき)といった中国の唐代の詩人たちについて研究してきましたが、常に、研究の視点が雑駁で統一性に欠けるという漠然とした悩みを抱えていました。ところが最近になってそれらの研究には、古典詩に描かれた伝統的知識人（士人）たちの生態（生き方、生活のありよう）の探求という、通底する問題意識があったのではないかと自覚しはじめました。

そうです、私も、図像という方法ではありませんが、文章によって、清朝の画家と同じように、当時の知識人たちについて私が解釈した姿を再現しようとしていたのです。

ただ日暮れて道遠し、まだまだ、わからないこと（＝知りたいこと）がたくさんあります。

最近の些末な仕事：

川口喜治（単著）「李頎の士人描写詩について」（一）（二）（三）（四）（補論）
山口県立大学国際文化学部紀要 22・23／山口県立大学大学院論集」17・18・20／2016～2019

川口喜治（単著）「張果関連文献訳注稿」（上）（中）
山口県立大学国際文化学部紀要 26／山口県立大学大学院論集 21／2020

教員紹介へのリンク

教員データベースへのリンク